

言語・コミュニケーション評価報告書

〇〇 〇〇 様

書類作成日：平成〇年〇月〇日

東京都〇〇市〇-〇-〇

TEL 〇〇〇〇

〇〇〇センター

リハビリテーション部 言語聴覚療法科

作成者氏名 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 様 性別：女 生年月日：平成〇年〇月〇日 年齢：3歳3ヶ月

◆実施検査

言語・コミュニケーション発達スケール（LCスケール）

◆評価場面・自由遊び場面での様子

入室や着席はスムーズでしたが、落ち着きがなく独語がしばしば聞かれました。視線は合いにくい印象がありましたが、ご自分の要求はしっかりと言語で伝えられました。例えば、「アンパンマン（玩具）やりたい」と言いながら玩具を指差し、STを見ていました。しかし、会話が成立しにくく、一方通行になりがちでした。持続して着席することは困難でしたが、LCスケールは玩具を使った遊びを途中で入れて実施しました。

◆検査結果

○実施時生活年齢 3歳3ヶ月 実施日 〇年〇月〇日

○領域別LC年齢およびLC指数

	言語表出	言語理解	コミュニケーション	総合
LC年齢	2-6	2-9	2-7	2-7
LC指数	87	85	82	79

以下、課題ごとの結果について記します。

<コミュニケーション>

3歳前半の【30 ジェスチャーの命名】を通過し、コミュニケーションに有用な身振りはよく理解されていました。

一方、うれしい顔、悲しい顔、怒った顔を3個の表情から選択する2歳前半の【25 表情の理解 (1)】は全て誤答となりました。2歳後半の【36 表情の理解 (2)】も得点にならず、感情を表す語の理解や線画による表情の理解は難しいようでした。

相手と交代で積み木を積んだり、じゃんけんて勝った方が積んだりする【32 積み木遊び】は不通過となり、順番やじゃんけんの理解といった人とかかわりのルールの習得はこれからの課題で

す。

<語彙>

2歳後半から3歳前半レベルの動詞、形容詞、色名に関する課題を通過されていましたが（【28 形容詞の理解（1）】、【29 動詞の理解】【33 形容詞の理解（2）】【34 色名の理解】）。【18 物品名の理解】や【21 絵の名称の理解】には誤りもありましたが、選択肢の絵を見比べて選ぶことが難しかったのかもしれませんが。

一方、2歳後半の【39 対人的ことばの使用】は不通過となりました。例えば、「○○ちゃんがお外から帰って来たら、何て言いますか？」という質問に対して、『さきちゃん、おうち』とお答えになり、これは絵の場面に沿った回答ではありますが、あいさつのことばを尋ねる質問の意図が理解できない様子でした。形容詞や動詞は理解できておられるものの、文で教示された質問の意味を理解することがやや難しいようでした。「どこ」「だれ」といった疑問詞の使用（【24 疑問詞の使用】）も身につけられるとよいでしょう。

<語連鎖・統語>

3歳後半の【38 文の復唱】では、「お魚は泳ぎます」といった助詞・助動詞を含む2文節文が年齢相当の水準で復唱できました。一方、【31 語連鎖の理解】では、「白い猫」や「食べている犬」という指示に対して、正しい絵を選択できず、2歳前半レベルとなりました。文の復唱は得意ですが、文を正確に理解し、描かれた状況と対応づけることは今後の課題です。

<語操作・統語>

2歳後半の【35 事物の定義】では、「はしで何をしますか？」に『あか』とお答えになるなど、質問の意図がお分かりにならないようでした。

◆総合所見

総合、言語表出、言語理解、コミュニケーションの全ての領域のLC年齢について、生活年齢と比較して若干の遅れがあることが推察されました。今後、着席して課題に取り組む構えを構築しつつ、言語とコミュニケーションの両面に働きかけていくことが望ましいお子さんと思われまます。コミュニケーション領域については、身振りはよく理解されますが、順番など人とのやり取りのルールを身につけていくことが期待されます。人とかかわる際のことばの幅を増やすために、日常生活や遊びの中でことばを豊富に聞かせて、文の意味を正しく理解する力や自分の考えを文で表現する力を育てていくとよいでしょう。

以上、簡単ではありますが、言語・コミュニケーションの評価の結果をご報告申し上げます。